

「Power to Heat技術のフィージビリティ調査」

仕 様 書

平成26年10月

一般財団法人 エネルギー総合工学研究所

1. 件 名

Power to Heat技術のフィージビリティ調査

2. 目 的

ヒートポンプ／バイオガスエンジン併用熱供給システムを利用したPower to Heat技術のシステム構成、効率、コスト等を調査し、再生可能エネルギーの大量導入対策における同技術の実用可能性の検討に資する。

3. 実施内容

Power to Heat技術に関して下記の項目を調査して取り纏める。報告書分量はA4版30ページ以上とする。

(1) 熱需要が給湯のみの場合

(1.1) システム構成

(1.2) 主要コンポーネントの仕様

(1.3) 標準的運転方法

(1.4) 効率（代表的運転モードにおけるエネルギーバランス）

(1.5) コスト

① 機械装置費（計装関係、系統連系関係を含む）

② 土木建築工事費

③ 運転保守費

④ 間接費の考え方

(2) 熱需要が給湯と冷房の場合

(1)と同様の項目

4. 実施期間

（自）契約日

（至）平成27年2月27日（金）

5. 仕様書の解釈、定めのない事項の取扱い

この仕様書に定めのない事項については、エネルギー総合工学研究所プロジェクト試験研究部と協議のうえその指示に従うものとする。

6. 成果物の提出

提出書類名 成果報告書 2部

成果報告書電子ファイル 1部

提出期限 平成27年2月27日（金）

提出場所 一般財団法人エネルギー総合工学研究所 プロジェクト試験研究部

7. 検収・完了確認方法

完了届および納入品目の確認をもって検収とする。

以上